

広報

Town Newsletter

かわもと

緑にこだます音楽の里

2007

4

April No.432

平成19年

<http://www.kawamoto-town.jp/>

ホームページでは、カラー写真で記事をご覧いただくことができます。

桜舞い上がる春

心新たに
夢膨うんでも…



川本小学校



川本西小学校



祝入学式

川本町立三原小学校

春の陽気に誘われて桜の花びらも空に舞い上がる4月10日。町内3小学校で入学式が行われ、24名の新1年生が誕生しました。式では、ちよつと緊張気味な新1年生でしたが、先生に名前を呼ばれると緊張を吹き飛ばすぐらいの元気な返事！はにかみ笑顔で立派に主役を務めました。

教室では、これから始まる小学校生活にワクワクドキドキ！ちゃんとと言われたことを覚えたかな？初めて手にする教科書などにキラキラと目を輝かせていました。

三原小学校



かわもと

お知らせ

きびしい財政事情の中、経費節減のため、限られたスペースではございますが、「広報 かわもと」の紙面に併せて掲載することいたしましたのでご理解を賜りますようお願いします。

No.81

発行
島根県邑智郡川本町川本
川本町議会
TEL(0855)72-0068(専用)
FAX(0855)72-0635
⑧696-8501
編集 議会広報委員会
印刷 佐々木印刷株式会社
発行日 平成19年4月20日

平成19年度一般会計 当初予算 32億2千654万8千円

前年度対比 4.4%減額の超緊縮予算

平成19年度特別会計予算

川本町住宅新築資金等貸付事業特別会計	3万円
川本町国民健康保険事業特別会計	5億4千178万3千円
川本町老人保健事業特別会計	7億4千671万3千円
川本町簡易水道事業特別会計	2億224万7千円
川本町農業集落排水処理事業特別会計	1億438万4千円

平成19年第1回定例会が3月8日から15日までの8日間開催されました。はじめに樋口町長の施政方針・坂根教育長から教育方針がそれぞれ発表され、条例案件8件、予算案件9件、その他案件4件の21議案が提案され慎重審議の結果、原案どおり可決しました。一般質問は8名から当面する町政の諸問題について質問があり活発な論議が展開された。一般質問に先立ち予算特別委員会で19年度予算について審議し最終日委員長報告の後、採決が行われ、すべての日程を終了しました。

臨時議会

1月25日、平成19年第1回臨時会が開かれ、条例案件1件が審議され原案のとおり可決した。

■川本町税条例の一部を改正する条例の制定について。

(平成19年4月1日施行)

3月1日、平成19年第2回臨時会が開かれ、条例案件2件が審議され原案のとおり可決した。
■川本町副町長定数条例の制定について。
地方自治法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について。
(平成19年4月1日施行)

こんな議案を審議しました

請願・陳情

登録番号・年月日	陳情の要旨	陳情者の住所及び氏名	付託委員会	採択・継続
第1号 19.1.19	安全・安心の医療と看護の実現のため医師・看護師等の増員を求める陳情	島根県松江市大正町442-6 島根県医療労働組合連合会 執行委員長 有田 周二	総務教民常任委員会	継続
第2号 19.1.19	福祉医療費助成事業の拡充を求める陳情	島根県松江市大正町442-6 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵 栄助	総務教民常任委員会	継続
第3号 19.2.23	リハビリテーション医療の日数制限撤廃の意見書採択を求める陳情	島根県松江市嫁島町9番35号 島根県保険医協会 会長 古沢 正治	総務教民常任委員会	採択
第4号 19.2.23	公共事業での地域産材の優先利用を求める陳情	島根県邑智郡川本町大字川本279番地 江の川下流域林業活性化センター 会長 神谷 光夫	産建町民常任委員会	採択
登録番号・年月日	請願の要旨	請願者の住所及び氏名・紹介議員	付託委員会	採択・継続
第1号 19.1.19	旅館・ホテルの経営改善に関する請願書	島根県邑智郡美郷町湯抱344 邑智旅館組合 島根県松江市千鳥町59番地 島根県旅館生活衛生同業組合 組合長 仲田 博巳 理事長 野津 洋三 紹介議員 片岡 通泰	産建町民常任委員会	不採択
第2号 19.2.23	安心・安全な公務・公共サービス拡充を求める請願	東京都文京区湯島2丁目4番4号 全国労働組合総連合 島根県松江市母衣町55島根県教育会館内 島根県労働組合総連合 議長 坂内 多賀 三夫 議長 山下 三雄 倫代 紹介議員	総務教民常任委員会	継続

一般質問

小中学校の将来計画が重点課題と他課より出たが。

坂根教育長＝幅広い分野に影響を及ぼすからと理解している。



植田議員

「かわもと夢と元気、創造プロジエクト」の中で重点課題として小中学校の将来計画が政策推進課より出たが、担当課として、どう考えるか。また、子育てをする若い人達に今後の教育環境についてアンケートを実施するとのことであつたが、未だされていないが何故か。

坂根教育長

将来計画が教育だけでなく町施策の幅広い分野にまで影響を及ぼすために検討を要すると理解している。アンケートについては、教育委員会としても町内児童数の減

少は続くと思っている。何時かの時点ですべて統合の必要性が生じてくると思っている。保護者、地域にとって重大な問題なのでタイミングを探りながら実施した方が良いと思っている。

その他質問

・音戯館について1年間の総括を問う。

公立邑智病院の経営と今後を問う。

樋口町長＝邑南町長に申し入れている。



大畠議員

公立病院の医師確保と経営が問題となつていて、一昨年の定例会で、このままいくと負担増となるとの警鐘を鳴らしたが、行政の対応の遅さに失望を感じている。赤信号が渡れば恐くないとの意識が垣間見えところが残念である。今後、院長・事務長・管理体制が変わるが、どのような改善策をとるのか、また、当町としての対応を問う。

「新交通システム」の検討を問う。

樋口町長＝方向性の具体化を図る。



瀬尻議員

この問題については、平成16年9月の議会でも一度質問をしているが、町民が交通の便について地域格差を感じないような「システム」を早急に確立していただきたい。どのような年次方針で考えているのか尋ねる。

樋口町長

今回の負担増を求められるにあたつて、邑南町長に対して改善策を示す様要求をした。経営コンサルタントを入れることを約束され、すでに協議に入っている。各町の負担は間違いなく少なくするとの約束のもとに導入しているところである。地域の住民の皆さんを守るために医療のあり方というのも、県としっかりと協議していきたいと考えている。

樋口町長

基本的な考え方として、経費の軽減、サービスの向上、経済効果の波及などに視点を置き、新年度の早い段階で基礎データの分析を行い、今後の方針を図りたい。

その他質問

・「高齢者生産活動センター」の中に農産物の加工販売につながる食品の試作・開発・生産加工のできる食品加工の営業許可をとるべきではないか。



今後の農業集落排水使用料について問う。

安田地域整備課主査＝19年度に検討し20年度目途に結論を出す。



飯田議員

平成14年5月に供用開始された農排の繋ぎ込み戸数は80%であり、43戸は未繋ぎとなっている。また近年は中継ポンプ等のトラブルが多発し維持管理費の増額が懸念されるが使用料についてどのようにお考えかを問う。

安田地域整備課主査

繋ぎ込み依頼は個々に訪問し続けて行く。中継ポンプのトラブルについては、使用上の注意を明記し使用者各戸に配布する。19年度維持管理費は740万円で収入見込み額は603万円と予測する。不足の137万円は一般財源負担となる。使用料については、19年度に近隣町の状況を含め検討して行き20年度を目途に結論を出して行き

「全国学力・学習状況調査」 4月24日実施に参加するのか。

坂根教育長＝学習の到達・改善のために参加する。



山下議員

4月24日、小学6年生・中学3

年生を対象として全国一斉学力テストが実施予定となっているが、学力テストに参加する、しないは市區町村の教育委員会が決めることがとくなっている。川本町はどうするのか。文部科学省が各教育委員会に送付したという「全国学力・学習状況調査実施マニュアル」の内容を聞きたい。

坂根教育長

国語・算数・数学の2教科に合

たい。また処理場見学会を三原小学校児童、地域婦人会の皆様を対象に実施する。

・農業振興について。

その他質問

国保医療費の抑制について。

松井健康福祉課長＝今年度からは保健指導に重点をおく。



青木議員

川本町の総医療費は、県平均を上回り国保の運営は厳しい状況にある。特に糖尿病はじめ生活習慣病患者が非常に多い。「自分の健康は自分で守る。」絶えず意識し

させて学習の環境・方法・状況など質問調査もある。最終学年の学

習の到達度の把握、今後の改善のために参加する。全国の中の川本町の現状を分析し、これから教育活動、学力の向上に努めたい。
「実施マニュアル」は、県・町では公開できない。

その他の質問

・平成19年度一般会計予算・行財政集中改革プランなど財政について。

松井健康福祉課長

川本町の医療費は、17年が県下4番、18年が2番目と非常に多い。町の検診では1位高血圧、2位糖尿病、3位高脂血症となっている。今後は内臓脂肪型肥満の要因となっている生活習慣を改善するため糖尿病等の有病者や予備軍を減少させるための保健指導に重点をおいたものにして行く。

考える事が大事。病気になつたら少ない費用で終わらせるなどの掛け声で「病人のいない町づくり運動」に行政が先頭に立つて効果を上げるよう期待したい。予防医療周知、医療費抑制対策はどのように指導しているのかを問う。

特種産業の誘致に関連して施政方針を問う。

樋口町長＝住民と共に産業の創出を考える。



片岡議員

樋口町長

大規模廃棄物の処理施設、ウ

ラン残土の件は考えないでもない
が現在は、産業の芽が出つつある

ので、町民、議員の意見を聞きな
がらリーダーシップを發揮してい
く。

道の駅化について。

木村政策推進課長＝8月認定
までに整備する。



河田議員

議員発議

◎意見書提出（抜粋）

昨年4月の診療報酬改定でリハ

ビリテーション医療（以下リハビリ
医療という）について90日～180日の

日数制限が設けられた。この日数制

限により、せっかくリハビリにより
回復・維持していた身体機能が後退

してしまう事態が発生している。

リハビリ医療は身体機能の維持
に必要であり、寝たきりを防ぎ、医

療費節減にも役立つており、リハビ
リ医療の日数制限（打ち切り）は医

療費抑制にも逆行する策であるとい
える。

以上のことから国民の生命と健
康を守るためにリハビリ医療の日数
制限を早急に撤廃されるように求め
る。

そして、議場全体の雰囲気がお
ざなりで迫力に欠けるように感じ
ます。もつと白熱した議論、本音
のやりとりをいつも期待している
のですが…。

物足りなく議場を去ります。

◎条例改正（一部改正）
川本町議会委員会条例第2条
中、産建町民常任委員会の所管に
産業振興課を加える。

傍聴感想文

氏名 石田 悅子
住所 川本町川本

いつも感じることですが、質問
に対する執行部の答弁が抽象的、
あいまい。明確な答えが聞きたい
と思います。

私達が選んだ議員の皆さん、平
成19年度が川本町の正念場である
ことを再認識し、町の課題を傍観
者的に指摘するだけでなく、議員
として提案した以上責任を持つて
施策施行実施に執行部と共に汗を
流して頂きたい。

氏名 木村 慶五
住所 川本町中新町

町長共に大変に苦労したと聞くし
今回の事は特例中の特例だとも聞
く。各省庁との軋轢もあつたと思
うが進捗状況を聞きたい。

木村政策推進課長

町長の強い気持ちが国・県に伝
わつて実現出来た。県の後押しも
有り国交省との手続きに入り8月
認定までに整備をする。

町の現状を踏まえ、町長の施政方
針を聞く。
研究、検討を再考すべきではないか。
町の現状を踏まえ、町長の施政方
針を聞く。

人口の減少は続き、商店街は
衰退し、農業の振興、産業の創出
も思うようになつていない。この
ような、八方塞がりの状況の中で、
町民は町長の強いリーダーシップ
を待望している。以前提案した大
規模廃棄物の処理場、ウラン残土
の処理施設など国の整備資金や補
助金が付いている施設の導入を研
究、検討を再考すべきではないか。
町の現状を踏まえ、町長の施政方
針を聞く。

後追い質問になるが、川本の
将来を考えたとき銀山の世界遺産
登録もあり川本に多くの人に立ち
寄つていただきための第一歩と位
置付け、必ず実現させなければな
らないと思い一般質問したところ、
町長・執行部には素早い対応され
た事に驚きと共に評価をする。

第二歩は弓市地区に立ち寄つて
いたたく事を検討しているので相
談をしながら実現させたい。
道の駅化については町長・木村
道の駅化について町長・木村

平成19年度（3月定例議会）

町長施政方針

町政運営の基本姿勢について
町政運営の基本姿勢について、その施策の方針並びに平成19年度の主要な事業について申し上げます。

◆町政運営の基本姿勢について

町政運営の基本的な考え方及び、その施策の方針並びに平成19年度の主要な事業について申し上げます。

あらゆる分野での情報公開を進め、町政の透明度を高めることにより、町民の皆様が主役となる町政運営を目指すためには、町民の皆さんと情報を共有しなければなりません。「もっと知ろう・まちの予算」を平成17年度から発行して、予算の内容を少しでも多くご理解いただこうようにしました。町政座談会や地区説明会には、要望に応えるよう努力しております。

平成19年3月末までを、3ヶ月の財政非常事態回避期間と位置づけておりましたので、平成19年度になりましたら、取り組み状況の成果と反省を町民の皆様に説明するための「説明会」を開催致します。そして、その結果をきちんと認識して、現在進めております「川本町行財政改革に関する集中改革プラン」を中心に、さらなる行財政改革の推進に取り組んでいく決意をしております。

地方財政を取り巻く環境は、この1年間で大きく変化しております。「実質公債費比率」の公表により、財政健全化への取り組みが特に急がれる状況になりました。本町の場合、歳入面での改善は難しく、歳出面でも相当努力をしております。収支均衡を図るために、より踏み込んだ支出内容の点検と改革が必要であります。特別会計、関連の外郭団体などへの繰出金等についても抑制することの検討を行います。

また、産業創出や健康教育を着実に進めるため、中山間地域リーディング事業に取り組みます。

◆行財政改革の取り組みについて

私は、就任とともに財政の逼迫（ひっぱく）状況の改善を主眼として、財政再建計画の策定、或いは職員削減計画の策定など8項目を掲げ、町民の皆さんとの参画を得ながら不斷の取り組みを行うなど、一定の成果を見たところであります。町民の皆さんのご理解に改めてお礼を申し上げます。

しかしこうした努力の一環では、実質公債費比率という新たな財政指標が示され、これによりますと、本町は全国の市町村1804団体中57番目に財政状況が悪い団体であるとの公表もされるなど、さらなる財政健全化が強く求められています。

町債の償還負担が高水準で推移する一方で、地方交付税が大幅に削減されたことなどの影響によって、取り巻く状況はさらに厳しいものとなり、今後も多額の收支不足が続く見込みです。こうした状況に対応して、県の指導も得ながら借入金の繰り上げ償還を実行したところです。

平成19年度の財政見通しは、持続可能な町政運営を実現するにはもう一步踏み込んだ改革が必要なことから非常事態の回避期間を終えたものの、引き続き財政再建期間を設定しつつ行財政改革に全力で取り組んでいかなければならぬと考えています。

◆平成19年度の重点施策について

音楽の町の再構築と「健康教育」を掲げております。経済基盤の強化と同時に、地域の価値を高める取り組みが極めて重要です。本町が誇る歴史・文化・自然環境などの多様な価値に光を当てることは、都市と地方が互いに理解しない尊重しあう地域づくりや、これからの中本町が目指す新たなデザインにも通じるものであると考えております。

医療と地域福祉活動、地域に根ざした特産品づくりの推進のために、「かわもと夢と元気創造プロジェクト」をしっかりと推進したいと考えております。町民の皆さんとの参画により、将来の夢を描き元気のできるプロジェクトとして取り組みます。

書店の開店のようないニユースを契機として、商工会や商工業協同組合などの連携を密にし、活力のある町を目指したいと考えております。

◆中山間地域リーディング事業について

平成17年度から平成18年度の2年間で実施しました総力結集しまね再生事業を踏まえ、新年度から新たな段階を目指す中山間地域リーディング事業に取り組みます。

この事業は、文字通り先導的な事業に対する支援する制度であり、県からも職員が派遣されるなど本町の活性化を確かなものとする取り組みとなり、これまで進めてきた健康をテーマとする取り組みを形あるものにしていくことになります。

その推進母体として、「夢元気推進室」を設置して取り組みます。事業内容としては、これまで取り組んできました健康新リーズムの附加価値化の推進、24時間安心・安全な医・食・住の創出、インフォメーションセンターの道の駅化による利用者拡大の促進、新たな生活交通システムの検討、既存の公の施設の高度利用の検討などを中心として進めてまいります。

◆しまね地域提案型雇用創造促進事業について

この事業は、雇用の創出をテーマに平成18年度から県の委託を受けて、「かわもと夢と元気創造プロジェクト推進協議会」が事業主体となって取り組んでいるものであります。平成19年度も引き続き地域の医療福祉の確立、音楽による健康づくり、舞台技術者の養成、地域資源の活用による観光の振興、地域食材による健康の食、魅力の食の創出などの取り組みを計画して、現在県との協議を進めているところであります。

本事業は中山間地域リーディング事業と連動した取り組みとなるもので、定住化に向けた新たなビジネスチャンスと雇用の創出を実現し、町の活性化を目指すものであります。

◆観光振興事業について

本年の夏には石見銀山が世界遺産登録になる見通しであり、経済効果への期待も高まっているところであります。

本町としましても広島方面からのルート上にある「イン

フオメーションセンターかわもと」の機能を十分に活用し、こうした動きに対応をしていかなければなりません。その対応の一つとして、本施設を道の駅として登録できるよう国、県との協議を精力的に進めておりますので、名実ともに本町の観光振興の拠点施設として所要の整備を進めてまいります。

また、こうした動きの中心的役割を担うのは平成18年度から組織の再構築を図っております町観光協会であります。インフォメーションセンターを介して物販の促進は勿論であります、町内の各施設や各種イベントへの誘導など、利用者に対する情報発信の充実・強化を図ることにより交流人口の拡大と町内経済の活性化を目指してまいります。

◆島根中央高校並びに川本高校支援について

前期再編計画によります川本高校と邑智高校の統合問題は、統合場所を川本高校とし島根県立島根中央高等学校が平成19年4月1日に開校します。当町としましても厳しい財政事情にありますが、これから支援内容については、後期再編を視野に入れ、町民の皆様の意見をお聞きし魅力ある高校になりますよう支援策を講じたいと考えております。

平成19年度の主要事業 ◆因原地区内水排除対策について』…………総務課

平成18年7月の集中豪雨によりまして、国道261号線等が冠水、被害が発生した中、内水排除対策の実施に向け、関係機関への要望活動を行つてきましたところであります。このたび国土交通省より、現在川本出張所管内に配備されているポンプ車両などが最大限能力を發揮する配管設備整備計画が示されました。工期は19年度から2年間となる予定であります。特に内水排除対策においての国交省の考え方は、国と町での共同実施が原則との見解でありました。本町も財政状況の非常に厳しい中であります。町民の生命・財産を守るために最も優先事業として計上すべく、本年度予算に内水排除関連施設整備工事金等を計上しております。

『農業公社事業について』…………政策推進課

経営の安定化を図るため、新年度から人員体制の大幅な

ます。

引き続き、国土交通省並びに島根県等関係機関に対し全効力を要望活動を行つて参りますので、町民の皆様の一層のご支援を賜りますようお願いします。

『広島直行便バス対策について』…………総務課

平成17年6月30日に中国JRバスが撤退し、その後を受け益並びに年末年始の1日2往復の期間限定であります。が、石見ツアーバスによる広島直行臨時便の帰省バス運行がなされ、こうした動きが広島定期便運行の足がかりになればと願つていたところ、本年7月の石見銀山遺跡の世界遺産登録による効果が期待され、3月16日から1ヶ月間を臨時運行とし、その後4月16日より正式運行となります。

臨時便同様に1日2往復であります。待望の定期便運行が実現したことは町民の皆様はもとより議会並びに沿線3市町で行つてきた地道な要望活動が実を結んだものと心より感謝申し上げます。大田市と広島市を最短距離で結び、都市間交流、観光、帰省等多方面におきまして非常に重要なものであると考えております。ふたたび廃止にならないためにも、町民の皆様の利用促進を強く願うところであります。

『遊休農地の再生事業について』…………政策推進課

平成19年度も引き続いて遊休農地を再生する「元気な地域づくり交付金事業」を導入し、担い手となる農家の規模拡大や新規就農者・農外参入企業等に農地の提供を進めてまいります。

計画では、平成19年度は4haの基盤整備を行うこととし

ております。遊休農地を再生し新たな活用を図ることは本町の農業振興にとっても新たな活力となるものでありますので、積極的な取り組みを進めてまいります。

また、合わせて再生農地における生産活動を支援するため、農業公社営農指導員による作物の選定や栽培指導のほか、営農指導を強化し農業経営の安定化に向けた指導も行つてまいります。

『担い手育成について』…………政策推進課

新年度から実施される品目横断的経営安定対策は、一定の要件を満たす集落営農等が対象となります。

食料・農業・農村基本計画において一定の要件を満たす集落営農組織が担い手として位置づけられ、これまでの個別経営を中心とした農業構造が大転換されることになります。本町におきましても、集落営農の組織化・法人化への取り組みは農業振興を図る上で重要なテーマとなります。

本年1月、川本町第1号の法人営農組合「農事組合法人古屋口営農組合」が誕生しました。今後これに引き続いてさらに2つの営農組合が法人化を目指しており、早期の設立に向けて関係機関の協力も得ながら積極的な支援を行つています。

見直しにあわせ事務所を役場に移転する計画です。

農政が大きく変革されるなかで、担い手対策等本町の農業も集約化と経営規模の拡大に向けた動きが急がれる状況にあります。これまで以上に農業者、JA、農業公社、県・町など関係機関と連携した活動が不可欠な状況となり、農業公社の役割も一層大きくなっています。こうした状況に応えていくために、農業公社と町が密接に連携し効果的な施策を進めていく体制づくりが必要と考えております。

また、地産地消の推進につきまして引き続き農業公社に対し、野菜など農産物の栽培講習会の開催や安全安心の食育の推進などに取り組み、地元食材の生産と消費の拡大の一翼を担つていただき考えてあります。

ら担い手の確保に努めてまいります。

農地・水・環境保全向上対策事業について

政策推進課

平成19年度から新たに農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みがはじまります。この事業は担い手を中心とした品目横断的安定対策と両輪で動くものであり、担い手以外も含めた地域共同活動を支援するのものです。

この対策は、過疎化・高齢化などが進み地域資源を保全する地域共同活動の弱体化に対応していくため、適切な保全管理が困難となつてきている農地・農業用水等の資源や環境の保全向上を地域ぐるみで行おうというものです。

現在のところ9地区から事業の要望がありますので、今後は事業実施に向けて集落と協議をしながら、具体的な事務手続きを行つてまいります。

『有害鳥獣対策事業について』………… 政策推進課

有害鳥獣被害は年々増加の傾向にあります。特に野猿被害は深刻な状況にあり、農業被害は生産意欲を低下させることはもちろん、耕作放棄地の増加に拍車をかけるほか景観の破壊をも招く恐れがあります。これまで、防護策設置の補助、集団駆除の実施、捕獲奨励金の交付等を行つてその対応を行つておりますが被害は増加傾向にあります。

平成19年度から町独自の取り組みとして、野猿対策を地域ぐるみで取り組む野猿対策モデル事業を実施します。この事業は野猿対策に取り組む地域を指定し、専門家を招いての研修や出没した野猿を地域ぐるみで追い払うために必要な道具類の整備などにかかる経費の一部を助成するものであります。

『災害復旧事業について』 地域整備課

災害復旧の発注状況につきましては昨年11月末、林道災害・林地崩壊災害・学校災害計13箇所すべて発注し、3月末ですべて完成予定であります。公共土木災害・農業土木災害計214箇所につきましては、平成18年度割当事業費約8割について随時発注を行つており、平成18年度末までに公共土木災害101箇所・農業土木災害80箇所の発注を



行い、うち公共土木災害99箇所 2億9千百万円、農業土木災害70箇所 1億3千5百万円を繰越工事としております。

30 箇所すべてを発注予定としております。
平成19年度には残る公共土木災害3箇所・農業土木災害

JR二江綱町内災害復旧に伴
また

5箇所のうち3箇所については2月末で完成し、残る木路原
・竹間の2箇所については5月の完成をめざし急ピッチで工
事が進められています。

【道路整備について】
地域整備課

町道三島山の手線道路改良工事 延長100mにつきまし

では、平成19年度に於いて改良工事を完成する計画としております。

次に、県道事業についてであります。
継続工事として進められております主要地方道仁摩邑南
線多田工区の松原橋架橋工事及び一般県道川本大家線、三
俣・湯谷間の局部拡幅工事につきましては、引き続き早期

また、主要地方道川本波多線川本東大橋～木路原間の現道改良工事につきましては平成18年度に於いて調査測量設計業務が完了しております。平成19年度に於いて改良工事が完成の予定であります。弓市中心部の歩道整備に伴います県道部分の改良につきましても、引き続き実施されることとなつております。

『簡易水道事業について』…………… 地域整備課

平成18年度より2年間の補助事業により実施しております
三谷簡易水道統合整備事業につきましては、三俣・湯谷
間の導水管布設工事及び三俣地区送配水管布設工事が3月
末の完成を目指して施工中であり、引き続き平成19年度は三
俣地区の一部及び湯谷地区の送配水管布設工事を実施予定
しております。

この事業の完成により慢性的な水不足が解消され、両給水
区域の安定給水が期待されます。

『民生・児童委員の改選について』…… 健康福祉課

地域で町民の福祉を支える大切な役割を担つて頂いております民生・児童委員の一斉改選が本年12月に予定されております。人選等につきまして各般のご協力を賜ることとなりますので宜しくお願ひ申し上げます。

【障害者福祉について】…………… 健康福祉課

障害者自立支援法に基づき障害福祉サービスを現在策定中の「川本町障害福祉計画」にそつて施策を実施してまいりますが、旧ひまわりの里において「障害者地域活動支援センター」を美郷町のわかば会に委託して実施することとしております。障害のある方が外出や創作活動に利用して頂き、就労の場としての「川本ワークス」と併せ、安定した生活が営めるよう期待するものであります。

【介護予防について】…………… 健康福祉課

介護予防事業については、介護予防特定高齢者施策の対象となる特定高齢者の把握が全国的にも進まない状況のため、必ずしも充分な実施が図られていない状況にあります。厚生労働省においては候補者の該当基準の見直しが検討されているところです。見直しを受け生活機能の低下が疑われる高齢者に的確にアプローチし、決定された特定高齢者が確実に介護予防事業に参加していくよう検討しているところです。

また、介護予防事業を社会福祉協議会を主体として実施することとしており、悠湯プラザを利用した生きがい活動、地域の集会所等を利用してミニデイ事業や食生活改善事業、音戯館のブールを利用した転倒骨折予防教室などを計画しておりますので積極的な参加をお願いするものであります。

【後期高齢者医療広域連合について】…………… 健康福祉課

2月1日に県下全市町村が参加する後期高齢者医療広域連合が設立されました。平成20年4月1日実施に向けて準備を進めていますが、本年にはシステムの改修などを予定しております。新たな医療制度となりますので、町民の皆様への周知などを通してスマートな移行を期すこととしております。

中高年の男性を中心に、肥満者が増加傾向にあり、肥満者の多くが糖尿病や高血圧症、高脂血症などの危険因子を複数併せ持つており、心疾患や脳血管疾患を発症する危険

があり運動や食生活など健全な生活習慣の形成に向け予防の重要性に対する理解の促進を図ることとしております。

また、高齢者の医療の確保に関する法律により、40歳～74歳の国民健康保険加入者を対象として、平成24年度には糖尿病患者・予備群を平成20年と比べて25%減少させる「特定健診検査等実施計画」を策定することとしております。

【町税等について】…………… 住民課

年々増加している町税等の滞納額については、財政に大きな影響を及ぼすものであり、昨年11月に「川本町収納対策部会」を発足し、全庁挙げて徴収率の向上に取り組んでいるところであります。

平成19年度は、税等の公平を保つためより一層島根県と共同し、固定資産は基より動産・給与等の差押えを実施し、18年度決算徴収率を上回るよう徴収率向上に鋭意努力しております。

【ゴミの減量化について】…………… 住民課

本町のゴミ排出量は、平成15年度までは増加傾向でありますたが、それ以降は減少しております。しかしながら1人1日平均排出量は他町に比べて多く、より一層の減量化を推進していく必要があります。ゴミの3R（発生抑制・再使用・再生利用）を実践し、有効かつ確実に進めることが必要であります。

「川本町一般廃棄物処理基本計画」に沿った事業推進を町民の皆様や事業者、行政を加えた3者による協働の取り組みを図つてまいります。

【国際交流について】…………… 教育課

個性ある日本文化を習いに今春にはコペンハーゲンから約20名が来町されます。和太鼓と神楽を中心としますが、日本文化への興味としてはいろいろな分野を考えられますので、今後の交流拡大に結びつけます。また、7月下旬の全国高校総合文化祭では、ドイツのウルム市青少年プラスバンドと地元高校の吹奏楽部の共演が企画されています。

以上が施政方針の内容です。

平成19年度当初予算案について

予算の編成にあたっては、普通建設事業費をはじめとする各種事業の削減や事務事業の抜本的見直しなど、歳出全般にわたる見直しを行いました。

一方で、本町の将来を見据えつつ、「健康教育」を軸とした地域再生を念頭に「施策の選択と集中」を徹底し、町民の皆様との協働・信頼関係を構築することに留意しながら、厳しい財政状況の中であっても、重点的に取り組みました。

まず、一般会計予算についてです。

歳入面では税源移譲などによる税収の増加が見込まれるもの、地方交付税については引き続き厳しい抑制が見込まれ、多額の財源不足が予測されることから徹底した超緊縮型予算の名の下に予算編成方針及び厳しい目標設定をし、最終的には9千55万5千円の財源不足が生じ、これを財政調整基金、減債基金、その他特定目的基金の公共施設維持管理基金、ふるさと創生事業資金積立金などの取崩しにより対応しました。

こうした結果、平成19年度の一般会計の予算規模は32億2千654万8千円となり、前年度当初予算額と比較しますと、4.4%の減となつております。

次に、簡易水道事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計について、簡易水道事業特別会計当初予算で、三谷統合簡易水道工事予算を計上しています。また、農業集落排水処理事業特別会計当初予算で、処理場及び中継ポンプ維持管理業務費用予算を計上しております。

予算規模は、簡易水道事業特別会計が2億2千4万7千円で対前年度比0.9%の微増、農業集落排水処理事業特別会計が1億4千38万4千円で対前年度比12.6%の増となつております。

次に、国民健康保険事業特別会計、老人保健事業特別会計につきましては、国民健康保険医療費、老人保健医療費ともに、一層の医療費適正健全化に努めることとしています。

予算規模は、国民健康保険事業特別会計が5億4千178万3千円で対前年比16.5%の増、老人保健事業特別会計は7億4千671万3千円で対前年比13.3%の減となつております。

因原自治会と 因原婦人会に感謝状

昨年7月の豪雨災害の際、因原地区の内水による浸水の被害が発生した際に、やすらぎ荘及び江川荘入所者の避難誘導へ尽力頂いた事への感謝状贈呈が行われました。

歩いて、走って 健康づくり！

3月25日(日) 笹遊里で「川本町健康マラソン＆ウォーク大会」が開催されました。この大会、健康づくりと体力増進を目的に体育指導委員会の主催で毎年行われており、今年は40名が参加しました。当日は小雨模様で、絶好のマラソン日和となりましたが、春の訪れがほのかに感じられる笹畠地区内の約2kmを、全員が無事完走しました。



感謝状を受け取る因原自治会長の山下晃氏 (2007/3/27)

まちの話題

ステージクリエイト “悠邑舞台塾開校”

第1回ステージクリエイト“悠邑舞台塾”を開催します！この舞台塾、何かつて？皆さんが演劇やライブで見ている輝かしいステージを自分たちも創ってみよう！その為に必要な「知識」と「技術」を習得しよう！という事です。舞台・音響・照明…って何？という方でも大丈夫！月1回のペースでそれぞれ習得していきます。分からなくても、自信が無くてもOK！やってみたい気持ちさえあれば、経験は問いません。興味がある方は是非ご参加ください。

日 時 平成19年5月24日(木)
午後7時～

料 金 無料

会 場 悠邑ふるさと会館 大ホール

【問い合わせ・申し込み】

悠邑ふるさと会館 ☎ 0855-72-0001

「生命の貯蓄体操」で健康づくりを推進する「川本町健康体操道場」（代表百田百合子氏）が「健康長寿しまね推進会議会長賞」を受賞されました。この賞は、高齢化率全国1位の島根県だからこそ、高齢者がいきいきと住み慣れた地域で、心豊かに健康に過ごせるよう支援することが重要との観点から、地域で健康づくり活動を実践されているグループなどを対象に贈られる賞です。今回受賞された「川本町健康体操道場」は、昭和50年に川本町で「生命の貯蓄体操」が推進された後、自主的に健康づくりに取り組み、体操の実践と普及に努めてこられました。その32年の長きにわたり活動を継続さ



れたことがこの度評価されました。現在、弓市道場は毎週水曜日の午後1時から弥山荘で、毎週日曜日は午後7時から川本町婦人会館で、谷道場で「生命の貯蓄体操」を開催しています。「生命の貯蓄体操」で健康づくりを行つてみたい人は、是非参加されてみてはいかがですか？

新刊案内

《子ども向き》

なによりも大切なこと

「バッテリー」「えりなの青い空」など多数の著作の中から、10代の少年少女に届けたい言葉を集めたメッセージブック。
(小学校高学年～中学生向き) (PHP研究所)

魔使いの弟子 ジョゼフ・ディレイニー著 金原瑞人 田中亜希子訳

手に職をつけてひとりだちするために、ぼくが弟子入りすることになったのは魔使い。弟子入りするための最初の試験は、さびれた炭鉱町ホーショーにある幽霊屋敷でひと晩過ごすこと。こわがりの少年トムは、無事に魔使いになることができるのか? (小学校高学年～中学生向き) (東京創元社)

ブタペイカリー

いろいろなかたちのパンを売る小さな移動パン屋さん「ブタペイカリー」。ある夜、ふしぎなお客が「4丁目にしつばパンを売りに来て下さい」と言って…。絵本
(小学校低学年向き) (文溪堂)

《一般向き》

大学受験案内 2008年度用

全国の私立・国立・公立大学をすべて掲載し、その入試方式・出題科目を徹底紹介。新設学部の情報もいち早くお届け。入試難易ランキング表付き。
(晶文社)

水上のパッサカリア

第10回日本ミステリー文学大賞新人賞受賞作。
(光文社)

その他たくさん入りました。

4/23 川本町読書の日

子どもの読書活動の推進に関する法律で、4月23日は、子ども読書の日に制定されています。

この日は、川本町読書の日です。大人を中心となり、家庭や地域でお話しの楽しさをたっぷり味わえる環境作りをしましょう。

展示貸出：「川本町読書の日おすすめの本」

展示期間：4月15日～5月6日

※子ども読書の日啓発リーフレットを保育所・学校・公民館を通じ配布します。

いいお顔のひろば ～ミニ読書会～

今年度初めての、「いいお顔のひろば・ミニ読書会は「あいあいの家」のお年寄りの方と交流をします。

5月のお話を聞いたあとは、一緒によもぎだんご作りを楽しみましょう。

日 時 5月16日(火) 9:30～11:00

場 所 サポートセンター

内 容 読み聞かせ、よもぎだんご作り、本の貸出
対 象 在宅保育の親子

持 参 品 エプロン、三角巾、お茶、貸出カード

参 加 費 1人 50円

要 申 込 5月10日(木)締切

子育て支援センター Tel72-0170 カわもと図書館 Tel72-0025



かわもと だより

No 120

かわもと図書館

ご 利 用 案 内

住民の皆様の読書や生活のヒント、様々な調べ学習を支援する機関です。無料でご利用いただけます。

開館時間 平日 10:00～18:00

土日 10:00～17:00

休館日 毎週火曜日、毎月末日、祝日

貸出制限 貸出カード1枚につき5点まで

本…5冊まで2週間

雑誌…5冊まで2週間 (最新号は館内利用のみ)

CD…2枚まで1週間

ビデオ、DVD…いずれか1点まで1週間

サービス

予約…貸出中の資料に予約をしていただくと、返却されたことをお電話でご連絡します。

リクエスト…当館に無い本を他館や購入してご利用いただけるようにします。(無料)

レファレンス…調べ物を代行調査します。

コピー…1枚10円 (当館資料のみ。著作権の範囲内)

インターネット用パソコン…1台設置 (無料)

館内視聴…当館所蔵のビデオ、DVD、LDを館内AVブースでご利用いただけます。

ゴールデンウィーク期間中の休館日

4月29日(昭和の日)、30日(月末整理日)

5月1日(火)、3日(憲法記念日)、

4日(みどりの日)、5日(こどもの日)

★長期休暇前特別貸出

4月21日(土)～27日(金)

1枚のカードにつき、10点貸出します。

情報 じょうほう

こうさてん 交差点

町の人口

男	1,928人	(1,984)
女	2,158人	(2,215)
計	4,086人	(4,199)
うち65歳以上 1,610人 (1,609)		
うち15歳未満 415人 (418)		
世帯数 1,843戸 (1,878)		

平成19年4月1日現在の住民登録による
()は前年同月

ます。
国民年金保険料の納め忘れはありませんか?』

国民年金の保険料は、20歳から

60歳までの40年間納めることになっています。保険料の納め忘れがあると、将来の年金額が減額になります。だけでなく、もしもの時の障害年金、遺族年金が受けられなくなることがありますのできちんと納めましょう。

毎月の保険料は翌月の末日までに納めます。納め忘れてしまい2年経つと、時効により納めることができなくなりますのでご注意下さい。

行政相談週間と無料相談所の開設

5月21日～27日は行政相談週間です。道路、農地、登記などに困っている、相談場所が分からぬなどありましたら、お気軽に相談にお出かけ下さい。相談は無料で秘密は固く守られます。

※行政相談制度とは、国や役所の仕事について苦情や要望を受け付け、公正な立場から必要なあせんを行い、問題解決の促進と行政運営の改善に役立てる制度です。

年金相談が終了します

毎月1回役場で行われていた社会保険事務所による年金相談が、今年の5月を最後に終了いたしました。5月以降については、浜田社会保障事務所(月々金)へ直接行います。

清水哲之介委員宅(下新町会議所で行われる年金相談にお出かけ下さい。

場所 清水哲之介委員宅(下新町まで 清水薬局)

※相談には事前に連絡をお願いし

健康福祉課よりお知らせ

平成19年4月1日より児童手当

皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、よろしくお願ひいたします。

最終相談日／5月9日(水)

午前10時～午後3時

【浜田社会保険事務所】年金の相談

☎ 0855-22-0672

戦没者等のご遺族の皆様へ

第8回特別弔慰金の請求はお済みですか? 戦没者等の死亡当時のご遺族で、平成17年4月1日において、公務扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合に、ご遺族お一人に特別弔慰金が支給されます。

※支給内容 領面40万円、10年償還の記名国债

方は、その期間分の保険料を10年間遡って納付することができます。

※請求期限 平成20年3月31日まで

※請求窓口 役場住民課

【問い合わせ】
健康福祉課

☎ 72-0633

教育委員会よりお知らせ

事務所が移転しました

音戯館内にありました教育委員会(教育係)の事務所が4月1日より悠邑ふるさと会館へ移転しました。

音戯館の運営は引き続き文化振興係が行います。

事務所移転に伴い悠邑ふるさと

制度が拡充され、3歳未満の第1子及び第2子の手当額が倍増されました。なお、今回の改正では特に手続きを行つて頂く必要はありません。3歳以上の児童手当額、支給対象年齢及び所得制限限度額については現行通りです。

浜田労働基準監督署
☎ 0855-22-1840
【問い合わせ】
成21年3月28日以降は申請出来なくなりますのでご留意下さい。

労働基準監督署までご相談下さい。
金として1200万円)が支給されます。心当たりのある方は浜田労働基準監督署までご相談下さい。

綿を取り扱う作業により肺がんや中皮腫などの病気にかかり死亡した労働者の遺族に対して、特別遺族給付金(年金240万円。年金を受ける遺族がいない場合は一時金として1200万円)が支給されます。

清美鉱山(現、江津市清美町周辺)では、石綿(アスベスト)の採掘が行われ、江津市の工場において鉱石を粉碎し建築原材料等が製造されていたようです。浜田労働基

会館は休館日(毎週火曜日)も会議室等は日中に限り(午前9時から午後5時まで)ご利用頂けます。

清美鉱山で働くかれていた方

21(月)	⑤紙容器包装収集(川本北)
22(火)	■基本・胃がん検診(川本公園管理棟) ■心の健康相談(13:00~すこやかセンター)
23(水)	
24(木)	
25(金)	■乳幼児健診(すこやかセンター)
26(土)	◆チャレンジ学級
27(日)	■休日診療 ・阿須那診療所・加藤病院(10:00~16:00)
28(月)	⑥ペットボトル収集(川本北)
29(火)	
30(水)	■子宮がん、乳がん検診(尾原高齢者センター9:30~、北公民館13:15~)

◆レントゲン検診車によるマンモグラフィ検診を子宮がん検診と一緒に開催します。

対象者は主にがん発生率の多い年齢としています。(隔年で巡回します)

- ・乳がん検診対象: 40~69歳
- ・子宮がん検診対象: 20~75歳

毎月19日は食育の日

朝、昼、夜の規則正しい食習慣と季節感のある旬の食材、ご飯を中心とした日本型食生活を通して生活習慣病の予防と、食糧自給率の向上に努めましょう!

◆健康相談◆

19年度から新たに健康相談の場を設けました。お気軽にご利用下さい。(西公民館・街角ギャラリー)

『4月の納税』

◇固定資産税 1期

5月1日(火)まで

『5月の納税』

◇軽自動車税

国民健康保険税 1期

5月31日(木)まで

町税は必ず納期内に納めましょう

子ども歳時記

- file 66 -



平成19年4月9日。島根県立島根中央高等学校の開校式と、113名の前途ある若者達の入学式が行われました。島根県の中央に位置し、島根県を代表する高等学校の生徒として新しい歴史を作ってくれるでしょう。

photo : 2007.4.9



私のごくごくわずかな趣味の唯一の欠点はガソリン代！どんどん値段があがっていく時なんかは、とても苦しいガソリン代でした（笑）まあ、そんなことにもめげず、今後も暇をみつけてはウロウロします（笑）次はどこに行くかなあ…

趣味といわれて考えてみると、意外とないことによつと焦りました。趣味といえるか分かりませんが、休みの日にはだいたいドライブしていることが多いですかね。車を運転すると、いつの間に運転時間が晴れやかになります。だから、いつもつい遠出をしてしまいます。以前までは、目もなくあつちこつちにフランフランと走っていました。

た。しかし、最近では同じ運転をするなら何かうまいものを食べようと目的を決めてドライブするようになりました。休日、友達や知人からいろんな情報を得ては、いろんな店を探しながらのドライブです。最近行ったところで「うまい！」と思つたのは「朱華園」ですかね。分かる人には分かる美味しい店らしいですが：あそこは美味しかった！

リーフレット 私の趣味 「ドライブ」

84

青木 昇三

—川本町谷—

